

第4編 交通安全

1 概説

1.1 交通事故死傷者数統計

(1) 死者数統計

道路交通事故による死者数としては、我が国では通常特に断らない限り、警察統計[*脚注]における24時間死者数(事故発生後24時間以内に死亡した者の数)が用いられる。諸外国においては30日死者数(事故発生後30日以内に死亡する者の数)が用いられることが多く、国際比較をする際には普通30日死者数が用いられる。24時間死者数の統計は昭和21年から、30日死者数の統計は平成5年から作成されている。

これら警察統計の他に、厚生労働省人口動態統計がある。これは、陸上、海上および航空交通の事故を死因とする死亡者(事故発生後1年を超えて死亡した者および後遺症により死亡した者を除く)すべてを死因分類「交通事故」として集計したものである。この人口動態統計データのうち陸上交通事故にかかわる死者数から鉄道員等明らかに道路上の交通事故ではないと判断されるものを除いたものを、「厚生統計の死者数」として「交通統計」((財)交通事故分析センター)において公表している。表4-1は24時間死者数、30日以内死者数、厚生統計の死者数の比較を示したものである。24時間死者数に対して30日以内死者数は約15%増し、厚生統計による死者数は約40%増しとなっている。本第4編においては、特に断らない限り、24時間死者数を用いる。

(2) 負傷者数統計

負傷者数および負傷事故件数についても、本第4編においては特に断らない限り警察統計を用いることとするが、車両単独事故の負傷事故については、警察への届出のないものがほかの種類の事故の場合よりも多いであろうと推定されるので、場合によってはこのことに留意する必要がある。

[*脚注] 警察統計とは、警察庁交通局の協力のもとで毎年刊行される「交通統計」((財)交通事故分析センター)におけるものである

表 4-1 警察統計と厚生統計の交通事故死者数比較の推移

(出典：(財) 交通事故総合分析センター、交通統計，平成 17 年版，p.27)

年	区分	警察統計の死者数			厚生統計の	
		24時間死者 (A)	30日以内死者 (B)	比率 (B/A)	死者数 (C)	比率 (C/A)
昭和 45 年		16,765	・ ・ ・	・ ・ ・	21,535	1.28
46		16,278	・ ・ ・	・ ・ ・	21,101	1.30
47		15,918	・ ・ ・	・ ・ ・	20,494	1.29
48		14,574	・ ・ ・	・ ・ ・	19,068	1.31
49		11,432	・ ・ ・	・ ・ ・	15,448	1.35
50		10,792	・ ・ ・	・ ・ ・	14,206	1.32
51		9,734	・ ・ ・	・ ・ ・	13,006	1.34
52		8,945	・ ・ ・	・ ・ ・	12,095	1.35
53		8,783	・ ・ ・	・ ・ ・	12,030	1.37
54		8,466	・ ・ ・	・ ・ ・	11,778	1.39
55		8,760	・ ・ ・	・ ・ ・	11,752	1.34
56		8,719	・ ・ ・	・ ・ ・	11,874	1.36
57		9,073	・ ・ ・	・ ・ ・	12,377	1.36
58		9,520	・ ・ ・	・ ・ ・	12,919	1.36
59		9,262	・ ・ ・	・ ・ ・	12,432	1.34
60		9,261	・ ・ ・	・ ・ ・	12,660	1.37
61		9,317	・ ・ ・	・ ・ ・	12,458	1.34
62		9,347	・ ・ ・	・ ・ ・	12,544	1.34
63		10,344	・ ・ ・	・ ・ ・	13,617	1.32
平成 元		11,086	・ ・ ・	・ ・ ・	14,512	1.31
2		11,227	・ ・ ・	・ ・ ・	14,631	1.30
3		11,105	・ ・ ・	・ ・ ・	14,558	1.31
4		11,451	・ ・ ・	・ ・ ・	14,735	1.29
5		10,942	13,269	1.21	14,168	1.29
6		10,649	12,768	1.20	13,712	1.29
7		10,679	12,670	1.19	14,840	1.39
8		9,942	11,674	1.17	14,006	1.41
9		9,640	11,254	1.17	13,667	1.42
10		9,211	10,805	1.17	13,176	1.43
11		9,006	10,372	1.15	12,858	1.43
12		9,066	10,403	1.15	12,565	1.39
13		8,747	10,060	1.15	12,134	1.39
14		8,326	9,575	1.15	11,483	1.38
15		7,702	8,877	1.15	10,645	1.38
16		7,358	8,492	1.15	10,318	1.40
17		6,871	7,931	1.15	・ ・ ・	・ ・ ・
18		6,352	7,272	1.14	・ ・ ・	・ ・ ・

注 1 警察統計の死者のうち「24 時間死者」とは、道路交通法第 2 条 1 項第 1 号に規定する道路上において、車両等及び列車の交通によって発生した事故により 24 時間以内に死亡したものをいう。

「30 日以内死者」とは、交通事故発生から 30 日以内に死亡したものをいう(24 時間死者も含む)。

注 2 厚生統計の死者は、厚生労働省統計資料「人口動態統計」による。この場合の交通事故死者数は、当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故によるもの(事故発生後 1 年を超えて死亡した者及び後遺症により死亡した者を除く)をいう。

厚生統計は、平成 6 年までは、自動車事故とされた者の数を計上しており、平成 7 年以降は、陸上の交通事故とされた者から鉄道員等明らかに道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上している。

1.2 交通事故の発生状況

図 4-1 はわが国における道路交通事故による死者数および負傷者数の推移である。昭和 45 年に 16,765 人という過去最多の死者数を記録した後、昭和 54 年まで 9 年間にわたって減少を続け、その後増減を繰り返して平成 18 年には 6,352 人となった。負傷者数は最近平成 13 年までは増加の傾向にあったが、その後やや減少に転じ平成 18 年には約 110 万人となっている。

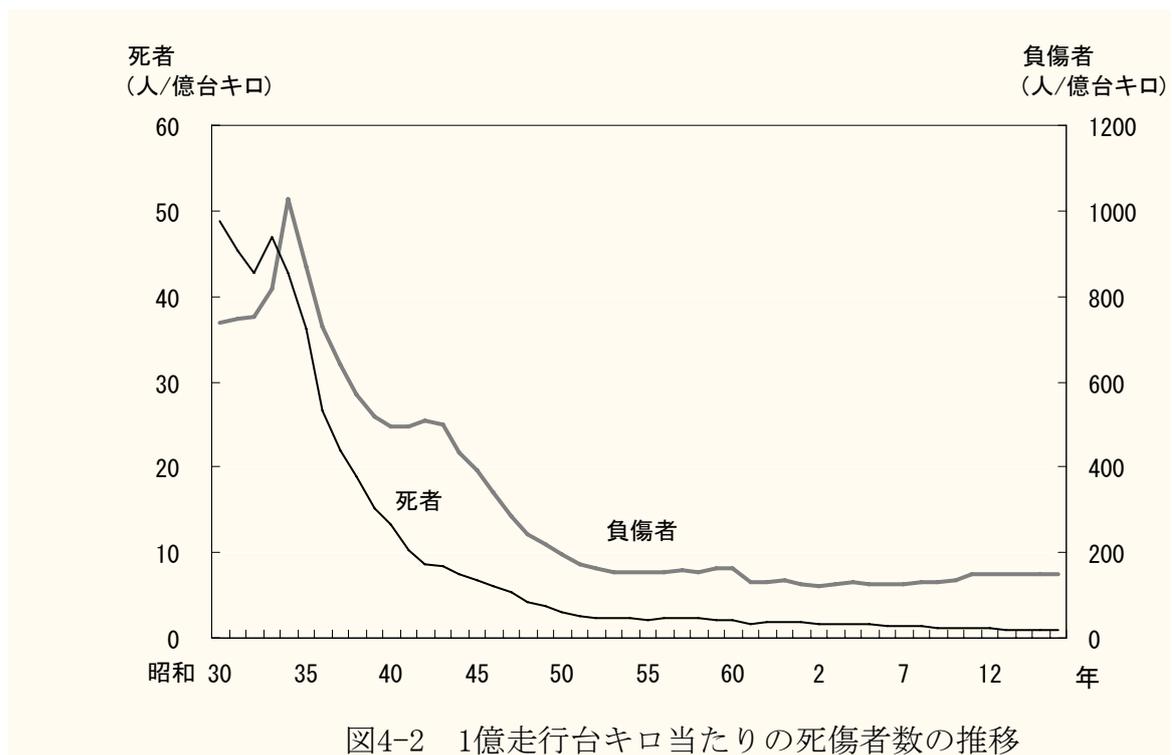
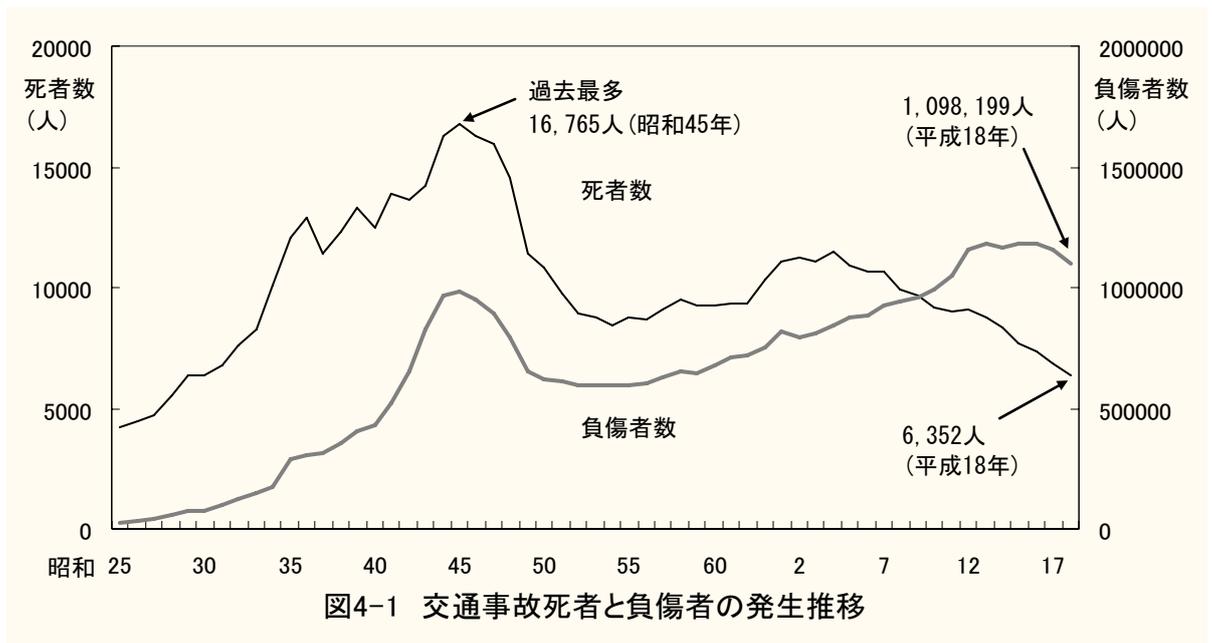


図4-2は1億走行台キロ当たりの死者数および負傷者数を示す。走行台キロ当たりでも死者数はほぼ一貫して減少傾向にあるが、負傷者数は最近になって微増に転じている。

図4-3は死亡者の状態別構成率を示す。自動車乗車中が約37%で半分近くを占め、次に多いのが歩行中の約32%である。

図4-4は死亡者の年齢層別構成率を示す。70才以上の死者が全体の36%を占めている。また人口当たりでも全年齢では4.97人/10万人であるのに対し、70才以上では12.58人/10万人であって、倍以上の高率となっている。

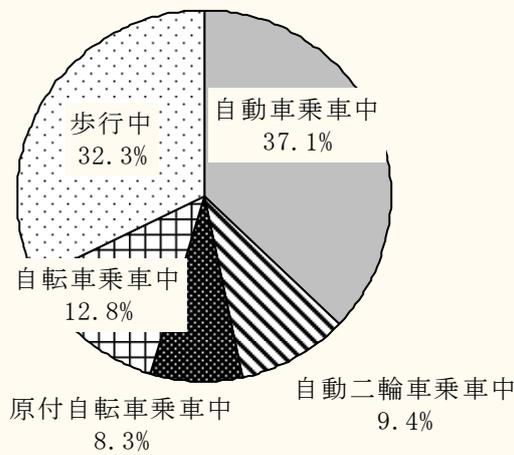


図4-3 死亡者の状態別構成率 (H18)

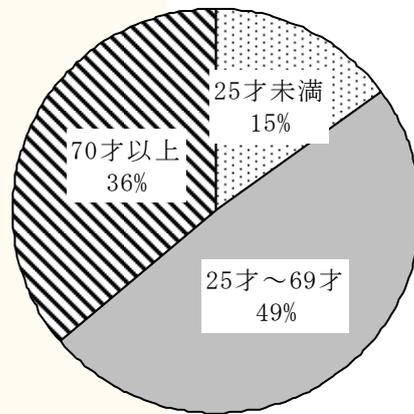


図4-4 死亡者の年齢層別構成率 (H18)

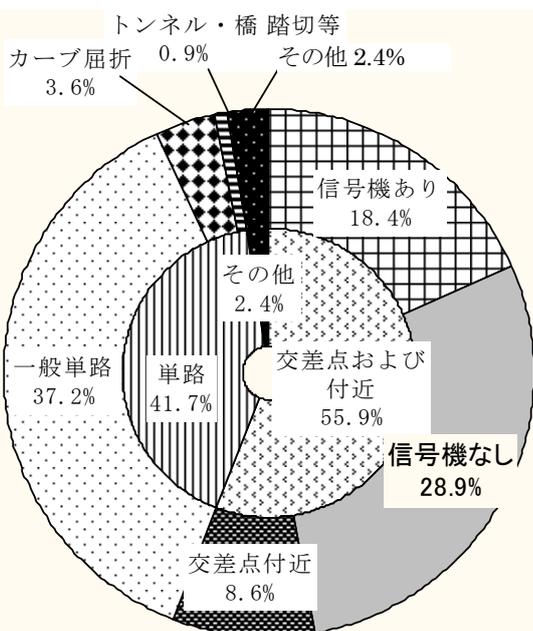


図4-5 道路形状別事故発生状況 (H17)

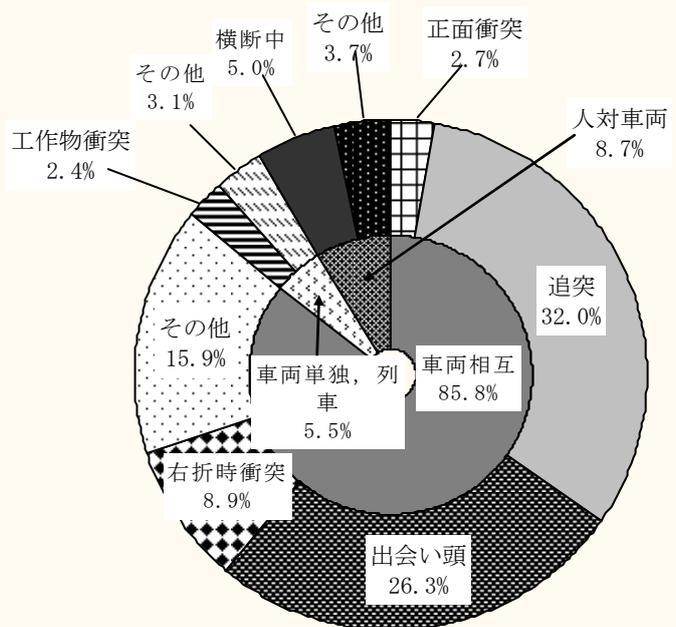


図4-6 事故類型別事故発生状況 (H18)

図 4-5 は道路形状別の事故（人身事故，以下同じ）発生状況を，図 4-6 は事故類型別の発生状況を示す．発生場所としては交差点および交差点付近で約 56%と半分以上を占めている．事故類型としては追突が約 32%を占めてもっとも多く，出会い頭が約 26%でそれに次いでいる．これら 2つの類型を含め，車両相互事故が全体の約 86%を占めており，人対車両事故（8.7%）や車両単独事故（5.5%）と比べて圧倒的に多い．

これを死亡事故のみに限って見ると，道路形状別では図 4-7，事故類型別では図 4-8 のようになる．

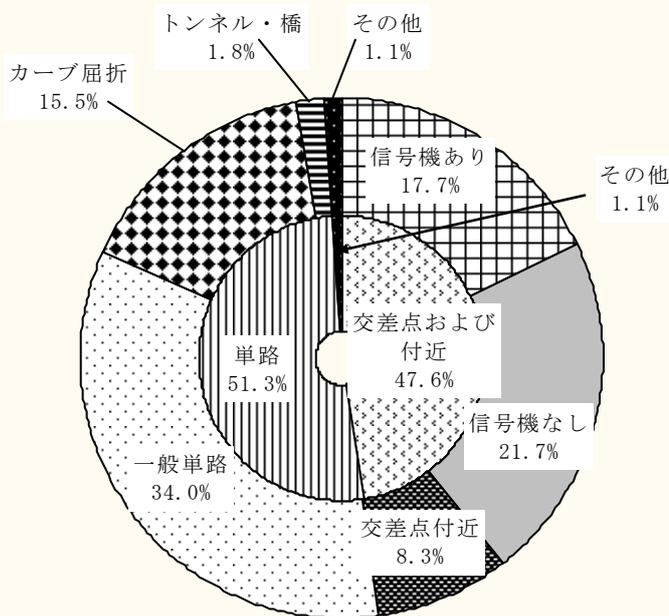


図4-7 道路形状別死亡事故発生状況 (H18)

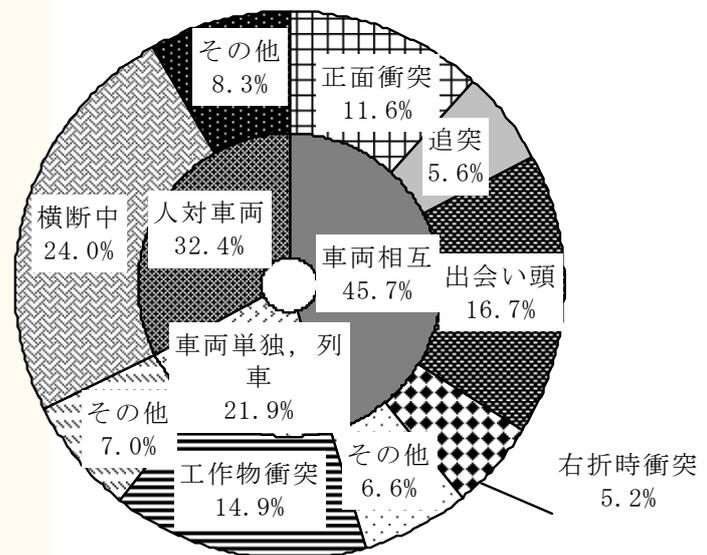


図4-8 事故類型別死亡事故発生状況 (H18)

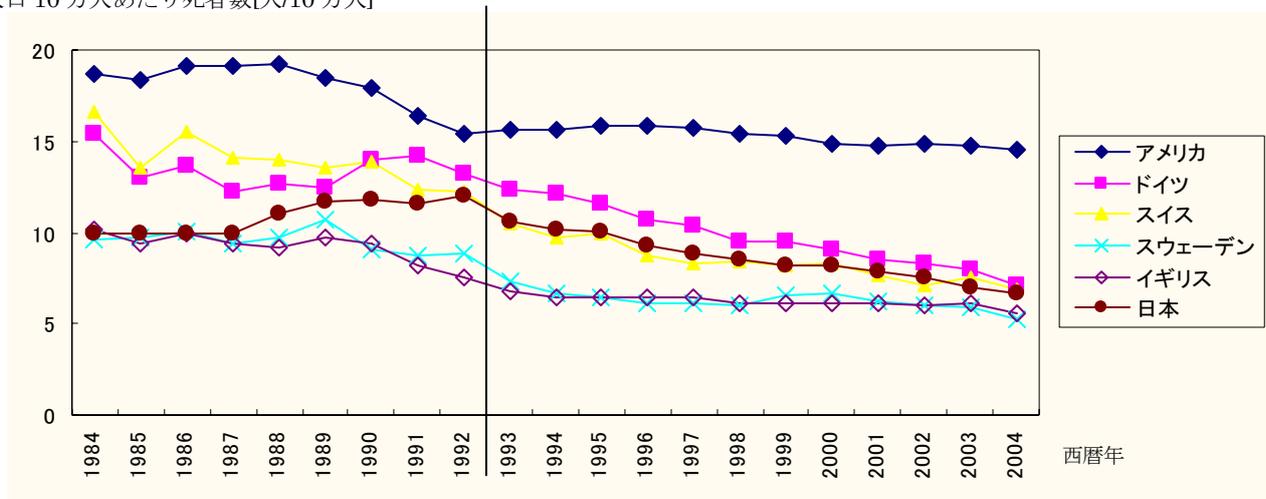
発生場所としては単路が約 51%，交差点および交差点付近が約 48%を占め，ほぼ半々となっている．事故類型としては車両相互が約 46%，人対車両が約 32%，車両単独が約 22%を占める．車両相互でもっとも多いのは出会い頭で全体の約 17%を占め，人対車両でもっとも多いのが横断中で全体の約 24%を占める．

表 4-2 は高速自動車国道（高速道路）における事故を全道路と対比して示したものである．高速道路は自動車走行キロでは全体の 9.3%を占めるが，負傷者数では全体の 2.0%，死者数では全体の 4%を占めるに過ぎず，高速道路が安全な道路であることが知られる．1 億走行台キロ当たりで見ると，高速道路は全道路に比して負傷者数で 5 分の 1，死者数で半分弱となる．

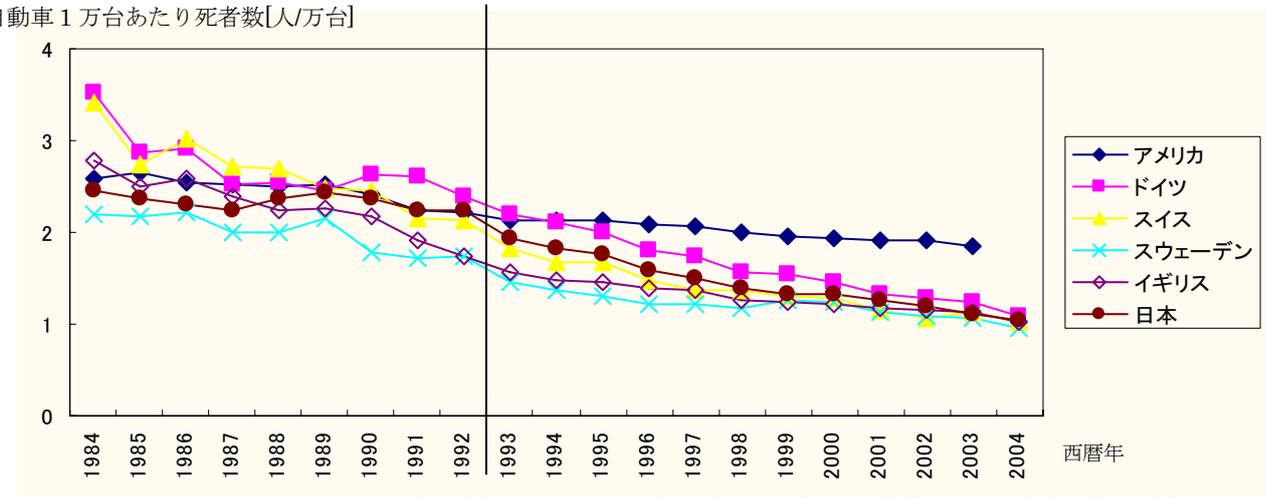
表 4-2 高速自動車国道における事故 (H18)

		全道路 A	高速自動車国道 B	B/A × 100
走行台キロ (億台キロ)		7,689 (H17)	712.5	9.27
人身事故件数		886,864	13,803	1.56
死亡事故件数		6,147	234	3.81
負傷者数		1,098,119	22,007	2.00
死者数		6,325	262	4.14
1 億台 キロ 当り	人身事故件数	115.3	19.37	16.80
	死亡事故件数	0.80	0.328	41.08
	負傷者数	142.8	30.89	21.63
	死者数	0.82	0.368	44.70

人口 10 万人あたり死者数[人/10 万人]



自動車 1 万台あたり死者数[人/万台]



(注)日本とフランスは 1992 年以前と 1993 年以降で統計が違うので経年比較はできない

図4-9 各国の人口あたり・自動車保有台数あたりの交通事故死者数の推移

図 4-9 は主要各国の人口当たり、自動車保有台数当たりの道路交通事故死者数の推移を示す。各国とも長期的には減少の傾向にあり、日本はいずれの指標においても先進諸国の中ではほぼ中位を占めている。